

コンパクト就活用ストッキング 就活応援のため開発・販売

実践女子大学

実践女子大学（東京都日野市）人間社会学部現代社会学科（令和6年4月よりビジネス社会学科に名称変更）3年次・杉山千紘さん（浜松学芸高等学校出身）と折田沙樹さん（星野高等学校出身）が考案した「就活応援ストッキング」が商品化され、渋谷キャンパス（東京都渋谷区）において昨年11月より850足限定で販売を行っている。

杉山さんと折田さんは経営戦略などを学ぶ篠崎香織教授のゼミナール生。二人のこの活動は、探究心旺盛な正課外の活動を支援する同大の「実践チャレンジ奨励金」に認定され、その資金を活用して企業から仕入れを行うなど本格的なビジネスに挑戦した。活動のきっかけは、学生の



杉山千紘さん（右）と折田沙樹さんは一年間開発に注力

アイデアをもとにした大学グッズを作ろうという話を授業で知ったことだという。就職やインターンシップ活動を意識し始めた、当時2年次だった杉山さんと折田さん。女性の足元のマナーとして就職活動でも履く機会の多い「ストッキング」に着目した。「環境配慮」「できるだけ伝統しない」「安価」「かさばらないサイズ」を商品のコンセプトに、安心して就職活動ができるお守りのようなストッキングの開発を目指した。

5月末から18日間、同大の学生・職員にオンラインでのアンケート調査を実施し、156人から回答を得た。すると、7割が外出先で伝統した経験や買い替えにより対処していること等が判明。「マナーケトリサーチ」により、自分たちが考えた商品コンセプトが正しいことを裏づけることができたという。

その後、複数のストッキングメーカーに問い合わせ、長年パンティーストッキングの製造・販売卸をする福西メリヤス株式会社（本社奈良・大和高田市）と連携して商品開発に着手。奨励金の範囲内の資金で原価計算を行う上でほかの学生にも協力を仰ぎ、販売数を850足、1個の価格を税込みで300円とした。

最終的に商品は、約10枚・約9枚・約の大きさに仕上げた。これはスーパーマーケットやドラッグストアの市販のものと比較して小さく、バッグに入れてもかさばらないサイズとなっている。また、女子大学生が詠んだいまどきの本音五七五をパッケージ内の紙の裏面に掲載したり、POPを「広告・PR論」のトとしている。

履修者に協力してもらい作成したりするなど、リアル面でも工夫を凝らした。今回アイデアを実践に移した二人は「授業で学んだ経営の知識を活かしてビジネスに挑戦ができました。アイデアが商品化できる仕組みが今後も続けていけるようになれば良いと思います」と、コメントしている。